

12月
定例会



VOL.19

いかた 議会だより

平成22年(2010年)2月19日

発行 伊方町議会

編集 議会だより編集委員会

電話 ☎-0211 (内線410)

☎-2662 (直通)

伊方町成人式



瀬戸地域



三崎地域



伊方地域

(2010.1.3)

今回の主な内容

12月定例会の動き	2P
主な決定事項	2P~3P
第17回臨時会報告	3P
一般質問・委員会報告	4P~6P
委員会合同現地視察	7P
議会日誌	8P



12月定例会の動き

第19回定例会は12月16日～18日開催

報告1件、条例5件、補正予算9件
契約4件、その他1件

(全て原案可決・認定しました)

主な決定事項

報告

寄付採納について

伊方町三崎
山下康喜氏より
学校教育の推進に役立てて欲しいと150万円の寄附をされたもの

条例

伊方町製氷施設条例の一部を改正する条例制定について

水産物鮮度保持施設（製氷施設）の設置に伴い、条例の一部を改正
製氷施設を伊方製氷施設に改正
三崎製氷施設を追加

伊方町集会所条例の一部を改正する条例制定について

川之浜集会所の用途廃止に伴い、条例の一部を改正

伊方町廃棄物処理施設条例の一部を改正する条例制定について

いて

伊方町リサイクルセンターの建設に伴い、条例の一部を改正

伊方町斎場条例の一部を改正する条例制定について

佐田岬斎場の建設に伴い、条例の一部を改正

伊方町電源立地地域対策交付金公共施設維持運営基金条例制定について

伊方町電源立地地域対策交付金公共施設維持運営基金を設置するため、条例を制定

補正予算

平成21年度伊方町一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれ
5、413万6千円を減額し
予算の総額を
120億3、101万3千円とする

平成21年度伊方町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

事業勘定
歳入歳出それぞれ

4、064万5千円を減額し
予算の総額を
19億8、540万4千円とする

平成21年度伊方町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ
173万7千円を減額し
予算の総額を
5億2、407万4千円とする

直営診療施設勘定
歳入歳出それぞれ
1、219万6千円を追加し
予算の総額を
6億9、523万6千円とする

平成21年度伊方町老人保健特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ
146万2千円を追加し
予算の総額を
882万3千円とする

平成21年度伊方町後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ
586万7千円を減額し
予算の総額を
1億7、048万円とする

平成21年度伊方町介護保険特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ
4、124万1千円を追加し
予算の総額を
11億円とする

平成21年度伊方町小規模下水道事業特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出それぞれ
108万7千円を減額し
予算の総額を
2億7、277万1千円とする

平成21年度伊方町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ
543万3千円を追加し
予算の総額を
1、128万3千円とする

平成21年度伊方町水道事業会計補正予算(第2号)

水道事業費用に
157万1千円を追加し
費用の総額を
3億911万5千円とする

契約

三崎（与修）漁港整備交付金事業請負契約の変更締結について

変更前

2億2、554万円

変更後

2億4、232万1千円

（事業量変更による増額）

有限会社三崎建設

塩成漁港整備交付金事業（分割の1）請負契約の変更締結について

変更前

1億1、917万5千円

変更後

1億3、269万4千円

（事業量変更による増額）

有限会社竹場建設

豊の浦漁港漁業集落環境整備事業集落排水施設処理場建設工事請負契約の変更締結について

変更前

1億1、235万円

変更後

9、843万円

（事業量変更による減額）

伊方建設有限会社

伊方町立三崎小中学校プール新築工事請負契約の変更締結について

変更前

1億2、495万円

変更後

1億2、984万8千円

（事業量変更による増額）

五洋・浜本特定建設工事共同企業体 五洋建設株式会社四国支店

その他

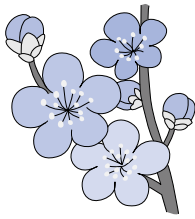
伊方町健康交流施設亀ヶ池温泉の指定管理者の指定について

指定管理者

株式会社 クリエイト伊方

指定期間

平成22年4月1日から平成27年3月31日まで



【第17回臨時会報告】

第17回臨時会は、11月20日に開催され、上程された議案は何れも原案のとおり可決されました。

○（仮称）伊方町斎場新築工事請負契約の締結について（再議）

契約金額 2億1,315万円

一宮・小林特定建設工事共同企業体 株式会社一宮工務店

○伊方町議会議員の議員報酬及び期末手当並びに費用弁償支給条例の一部を改正する条例制定について

期末手当の支給率

6月 期末手当1.60→1.45月（△0.15月）

12月 期末手当1.70→1.65月（△0.05月）

○伊方町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

期末手当の支給率

6月 期末手当1.60→1.45月（△0.15月）

12月 期末手当1.70→1.65月（△0.05月）

○伊方町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

人事院勧告

給料平均改定率 △0.2%

期末勤勉手当の支給率

6月 期末手当1.40→1.25月（△0.15月）

勤勉手当0.75→0.70月（△0.05月）

12月 期末手当1.60→1.50月（△0.10月）

勤勉手当0.75→0.70月（△0.05月）

住居手当（持ち家）廃止

○伊方町単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

人事院勧告 住居手当（持ち家）廃止

○伊方町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について

人事院勧告 住居手当（持ち家）廃止

○平成21年度伊方町一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出それぞれ1,615万4千円を追加し、予算の総額を120億8,514万9千円とする

○三崎製氷施設新築工事請負契約の締結について

契約金額 8,179万5千円 堀田建設株式会社伊方支店

一般質問

通告概要

篠川 長治 議員

○電源立地地域対策交付金等について
○核燃料サイクル交付金交付規則等について

清 家 慎太郎 議員

○耕作放棄地対策等について
○次期町長選の出馬意思について

梶 田 和 美 議員

○高齢者福祉について

小 泉 和 也 議員

○伊方町人権尊重の町づくり条例についての町長の認識及び基本姿勢について
○勸奨退職者に対する不当利得返還請求事件の訴訟の判決について



篠川 長治 議員

電源立地地域対策 交付金等について

○電源立地地域対策交付金は、平成15年に電源立地地域対策交付金、電源立地特別交付金等を統合して創設され、

新たに地域活性化事業（ソフト事業）が交付対象事業に追加され、幅広い事業が実施可能となっている。

交付対象は、電源立地の都道府県、所在市町村、隣接市町村等である。

平成12年1月18日、伊方町は県と、電源立地特別交付金市町村枠の配分率について（伊方0.5、保内0.2、瀬戸0.2、三崎0.1）にて同意しているが、報道ではこれが核燃料サイクル交付金の配分に準用されたとなっている。

核燃料サイクル交付金に、この配分を準用した根拠の説明。

【答】配分率については、議員の言われる電力移出県等交付金の率を準用したものではない。あくまで今回交付される核燃料サイクル交付金に対し、県と伊方町、八幡浜市の3者協議により決定したものである。（町長）

核燃料サイクル交付 金交付規則等について

○伊方原子力発電所のプルサーマル導入に伴う交付金の配分は、電源立地特別交付金の配分比率により、県と伊方町が各26億7千万円（44.5%）八幡浜市が6億6千万円（11.0%）で合意された。トップランナー方式の核燃料サイクル交付金は、プルサーマル計画を平成19年度末日までに同意した場合、その事業地域と隣接市町村の振興計画に寄与するために交付するものであると認識している。

交付規則に基づく地域振興計画について、資源エネルギー庁は、計画に掲げるべき事項として16項目と注意事項等を挙げているが、その内の4項目を挙げると、
②地域振興計画の必要性
⑦地域振興計画に対する事業地域の住民の要望及び意見
⑧地域振興計画の事業地域への公開及び周知方法
⑮地域振興計画の期待される効果等である。
町が県へ提出した計画で

は、総額30億706万8千円（内交付金充当予定26億7千万円）となっている。

計画の作成は住民への公開及び周知、要望等を十分に反映することが大切であると思われ、周知等は広報、ホームページ、議会、区長会等で随時行うとのことである。

そこで、核燃料サイクル交付金について、以下の点をお伺いします。

（1）配分比率合意の妥当性について。

（2）地域振興計画は、町民への公開及び要望等を集約して作成するのが順序ではなかったかと思うが、このことについて。

（3）使途について、町長は町民の安心・安全に資する事業に活用したいと説明されてきた。伊方小学校周辺の浸水対策は、湊浦港埋立て及び水門の完成と同時に排水設備も完備する計画であったが、現在では費用等の関係から様子を見るとなっている。安心・安全の観点から、この自然災害対策をどうされるのか。

（4）交付対象の地域活性化措置に（地域特有の産品等の開発及びその他地域の産業振興に資する事業）等がある。よって、町の基幹産業である農業・漁業団体等の要望等にも充分耳を傾け、地場産業の振興を目指す投資が大切であると思うがこのことについて。

【答】（1）町と県は対等であり、配分比率に差があるのは納得できないということ、最低条件として交渉にあたり、県の理解を得て双方が26億7千万円と同額になったものである。なお、県の計画内容は県立中央病院の整備を中心とした計画、また八幡浜市は市立八幡浜総合病院の整備のための事業で、伊方町民もその多くが利用するものであり立地町としての要望等も十分に配慮していただいた計画となっておりご理解をいただきたい。

（2）計画している事業は、伊方町総合計画を基本とし、町政懇談会等での意見も集約し町民の要望等も充分考慮し反映されている。また、町民への公開・周知が大切であることは言うまでもないが、地域振興計画は県の計画であり、町が勝手に公表することは出来ない。今後計画が国の承認を得れば県と調整した上で広く公表したい。

（3）サイクル交付金による計画の考え方は、あつてはならないことだが、原子力発電所の有事の災害に備えた安心・安全のための計画であると認識しており、浸水対策は豪雨等の自然災害によるもので基本的な考え方に違いがある。排水設備については、費用対効果や同様に浸水の恐れのある地区との兼ね合いを検証しながら検討していきたい。

(4) サイクル交付金による計画は、安心・安全のテーマに沿って策定しており、農漁業振興事業については既存の交付金や補助制度等を活用してまいりたい。(町長)



伊方原子力発電所

清家慎太郎 議員



耕作放棄地対策等について

問 耕作放棄地の活用策についてどんな取り組みがなされているか、あるいはしようとしているのか。

答 放棄地については、農業支援センターを中心にJA西宇和と連携し農地の流動化対策、放任園の伐採事業等に取り組んでいる。また、放棄地の新たな活用策として、高齢者でも生産可能な作物の普及と共に町ならではのブランド商品の開発が出来ないかと考えている。具体的には、杜氏の里にちなみ酒造りからうまれる酒粕を用いて比較的簡単に栽培が出来る瓜を使った瓜漬の大量生産を行い販路を確保出来ないものかと考えている。(町長)

次期町長選の出馬意思について

問 本当の意味での山下町長独自の伊方町の町づくりは2期目からではないかと考えているが、町長は次期町政をどのようにとらえておられるか。

答 来春の町長選挙への出陣進退については、この3年半の任期中、絶えず私を支えてくれた家族や親族の気持ちや胸の内、後援会の方々のお考えを充分聞いた上で判断したいと考えている。



る。現時点では明確なお答えが出来ないが、年明け早い時期に発表したいと考えておりご理解いただきたい。(町長)

榊田 和美 議員



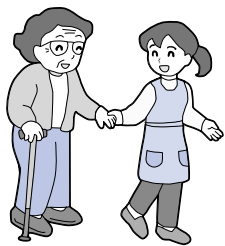
高齢者福祉について

問 (1) 家族が介護することを前提に介護保険は制度設計されている。従って独居高齢者や老夫婦世帯や認知症の介護が支えられていないという、エアポケットがある。そのためには、地域の介護力の開発が不可欠であるが、伊方町の取り組みをお伺いしたい。

(2) 男性の家族介護者も増え、男性ならではの悩みの傾向等、深刻な課題も浮き彫りになってくるようである。今の介護保険制度では家族介護が評価されておらず、家族介護者の生活支援が重要と思うが、その認識と対応について、お伺いしたい。

答 (1) 21年に策定した第4期介護保険事業計画では、基本理念として、健康的な高齢者の支援、高齢者の日常生活の支援、高齢者の尊厳保持、介護保険サービスの充実、幅広い施策による支援を掲げている。これらの施策を展開するために地域包括センターを設置し、専門職による介護予防ケアマネジメント、総合相談、支援事業等を行っている。また、独居高齢者や高齢夫婦世帯等の何らかの支援が必要な方々の要望等を身近な場所から包括センターに繋ぐための窓口業務を町内の居宅支援事業所と在宅介護支援センターに委託し、必要に応じて家庭訪問等を行っている。また、医療機関や民生委員等、様々な社会資源と連携を図り福祉のサービスに繋げる支援を行っている。

(2) 町でも家族介護者の生活支援は重要ととらえており、介護方法等に関する知識や技術の習得を促すための家族介護教室の開催や、介護者の身体的、経済的負担の軽減を図るため介護手当や介護用品の支給等を行っている。(町長)



小泉 和也 議員



伊方町人権尊重の町づくり条例についての町長の認識及び基本姿勢について

問 町長は、この問題に対して自ら取り組むべきであり、町民の方々に対して先頭に立って取り組む姿勢を表すこと、また「伊方町人権尊重の町づくり条例」をどのように考えているか。

答 この条例は差別や偏見のない明るく心豊かな伊方町を目指す町民の総意で制定された町づくりの礎となる条例であると強く認識している。昨年度、町内の各地域で実施した町政懇談会において直接に厳しいご意見もいただいた。今後、指導者の育成、町民の学習機会の確保、町民の学習意欲の向上等課題解決に積極的に取り組んでいきたい。(町長)

勧奨退職者に対する不当利得返還請求事件の訴訟の判決について

問(1) 本件に関しての判決を踏まえた上で、本件をどのようにとらえ、また善意の町民を訴えたことに対しどのように考えているか。

(2) 本件によって、不要な混乱を招いた責任、更には、裁判及びこの件の関係に要した町長、副町長、収入役、職員の人件費や出張旅費、弁護士費用、訴訟費用等は、町民の血税から支払われていることを考えると、町民の皆様にご費用等を公表する必要があると思うが、町長は、どのように対処するつもりか。

答(1) この退職金割増の問題については、大勢の町民等がおかしい、不公平ではないかとの疑念の感情を抱いていたので、関係者に説明を求めたのが発端である。しかしながら、関係者から明確な説明が得られず、町の審査では真相解明が限界であることから、議会の議決をいただいて提訴したものである。しかしながら、判決では町が主張した事務処理の違法性や行政に求められる公平性の問題が主たる論点にならず、「本人の意思に反して退職を求められ、それに応じて退職した職員2人は退職金の割増を受ける権利がある」と相手方の主張が全面的に採用された。(町の敗訴)

納得できる内容ではなかったが、当時の役場内部の疑惑解明には一定の成果があった

ので、判決を1つの区切りと受け止めている。この裁判の発端となった、不適切な事務処理等、当時の役場組織内の問題で、町民の皆さんにご心配とご迷惑をお掛けしたこと、大変申し訳なく思っている。

(2) このような不要な混乱、事態を招いた原因は「退職金の請求事務や必要な予算計上を適切に行わず、違法な支出等々さんな事務処理による混乱を招いた当時の事務担当者」「当時の経過を説明すべき立場にありながら、説明しなかった当時の町長及び職務代理者」「退職金の割増を受けておりながら、町の調査に協力しなかった元職員」「割増された退職金については返還していただくことと判断し、提訴を提案した私と、その議案に同意した町議会」この4者に責任があると思っている。また、町長としての責任を逃れるつもりは毛頭ない。費用については、公金の支出に関わるため公表すべきと考えている。内訳は弁護士費用、職員の旅費、町の敗訴による訴訟費用含め65万2、696円となつて

(町長)



委員会(協議会)報告

月 日	委員会(協議会)	概	要
11月5日	議員全員協議会	新型インフルエンザについて 子育て応援特別手当について 三崎製氷施設の建設工事概要について	
11月13日	議会運営委員会	第17回臨時会の運営について	
12月4日	議会運営委員会	第19回定例会の運営について	
12月8日	議員全員協議会	伊方町行政改革について ①第1次伊方町行政改革大綱に基づく主要項目の進捗状況について ②第2次伊方町行政改革の基本方針 伊方町中期財政見通しについて 核燃料サイクル交付金事業について 三崎小中学校プール新築工事の進捗状況について 伊方町健康交流施設 亀ヶ池温泉指定管理者の指定について 三崎製氷施設指定管理者の募集について 条例等の改正について ・伊方町製氷施設条例の一部を改正する条例制定について ・伊方町集会所条例の一部を改正する条例制定について ・伊方町廃棄物処理施設条例の一部を改正する条例制定について ・伊方町斎場条例の一部を改正する条例制定について ・伊方町電源立地地域対策交付金公共用施設維持運営基金条例制定について その他 ①元三崎診療所歯科医師住宅について ②元町道九町九町越線用地について	

①伊方保育所改築工事



- ・建設地 伊方町湊浦
- ・木造平屋建て A=771.35㎡
保育室3室、遊戯室、調理室他
- ・総事業費 2億1,105万円
- ・供用開始 平成22年4月1日

②伊方町リサイクルセンター建設工事



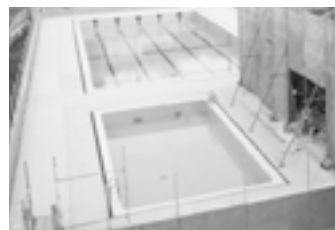
- ・建設地 伊方町九町（アラカヤ）
- ・鉄骨造平屋建て326.50㎡
- ・ビン類、缶類、ペットボトル、プラスチック、発砲スチロールの各処理機設置（処理能力 1.2t/日）
- ・総事業費 1億2,274万5千円
- ・供用開始 平成22年4月1日

③伊方町斎場新築工事



- ・建設地 伊方町神崎
- ・鉄筋コンクリート造2階建て338.16
火葬炉 2基 待合ホール54席、和室14帖、駐車スペース合計56台
- ・総事業費 2億1,315万円
- ・供用開始 平成22年4月1日

④伊方町立三崎小中学校プール新築工事



- ・建設地 伊方町三崎
- ・管理棟 RC造120.77㎡
- ・プール 25m×5コース
- ・サブプール 5m×10m
- ・総事業費 1億2,984万8千円
- ・供用開始 平成22年4月1日

生活福祉・産業建設・総務文教委員会合同の現地視察が平成21年11月4日(水)実施されました。これは、平素、書類審議の多い議会活動にあって、実際に現地を見て勉強しようという企画されたものです。

当日は、議員15名の参加があり、建設中の施設の配置や機能、工事の進捗状況について担当課長の説明を受けながら視察しました。施設の概要をご紹介します。

総務文教委員会
産業建設委員会
生活福祉委員会

合同現地視察

- ①伊方保育所改築工事
- ②伊方町リサイクルセンター建設工事
- ③伊方町斎場新築工事
- ④伊方町立三崎小中学校プール新築工事

議 会 日 誌

11月4日	議会だより編集委員会 委員会合同現地視察	12月1日	愛媛県後期高齢者医療広域連合議会第3回 定例会（松山市）
5日	宮城県女川町議会原発対策特別委員会視察 議員全員協議会	4日	議会運営委員会
8日	第4回伊方町社会福祉大会	8日	議員全員協議会
10日	第2ブロック町議会議長会（松山市）	11日	例月現金出納検査（監査委員）
11～12日	第53回町村議会議長全国大会（東京都）	16～18日	伊方町議会第19回定例会
12日	定期監査（監査委員） 例月現金出納検査（ ）	21日	八幡浜地区施設事務組合議会定例会
13日	議会運営委員会	22日	県町村議会議長会会計監査 第1回伊方町国民健康保険直営診療所連絡 会議
16～17日	地方分権推進全国会議（東京都）	1月3日	伊方町成人式
18日	行政改革推進委員会	12日	県町村議会議長会第2回定例会（松山市）
20日	伊方町議会第17回臨時会	14日	例月現金出納検査（監査委員）
27～30日	第61回全国人権同和教育研修大会	28日	伊方町環境監視委員会
		29日	伊方原子力発電所環境安全管理委員会

《視察来町》



宮城県女川町議会 原発対策特別委員会

さる11月5日、女川町町議会より17名の皆さんが視察のため来町されました。研修では、プルサーマル計画についての説明を聞かれた後、オフサイトセンター等を見学されました。

(研修内容)

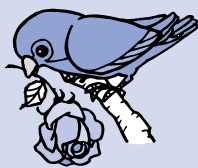
- ・伊方町の概況
- ・プルサーマル計画事前協議申し入れから事前了解までの経過及び議会の対応について

[編集後記]

日差しも少しずつあたたかくなってまいりました。

議会だより第19号をお届けします。

ご意見・ご感想をお寄せください。



【伊方町成人式】

1月3日(日)、伊方町生涯学習センターにおいて、伊方町成人式が開催されました。

式では、山下町長挨拶の後、菊池議長が「新成人となられた皆さんは、自らの可能性を追求し続けるチャレンジスピリットを磨き、これからの時代をたくましく生き抜いてください。ふるさと伊方町は皆さんを応援しています。」とお祝いの言葉を述べました。この日出席した103名の新成人の皆さんは、新しい社会を担う存在として希望を胸に決意を新たにしようとする。



菊池議長



茶話会